
ひろし・Road下巻

タケル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひろし・Road下巻

【Nコード】

N7797A

【作者名】

タケル

【あらすじ】

クリスマス直前の飲み会シーズンにたまたま出遭ってしまったエイコの場合。奴ならどうする、果たして彼女は逃げ延びることが出来るのか。

エピソード3 奴とのめぐり遭い（前書き）

この作品はフィクションです。登場人物や団体、その他の背景は実在していません。しかし、ひろしチックな人物は貴方の周りに居るのかもしれない。

エピソード3 奴とのめぐり遭い

断っておくが、奴は妻帯者である。

にもかかわらず、半ば強引に女性と付き合ってしまう。

ここでは、その毒牙にかかったある一人の女性との出会いについて書いてみよう。

エイコの場合

今からさかのぼること2年半前。

ちょうど街がクリスマスのイルミネーションで飾られていた頃のことだった。

最近転職をしたばかりのエイコの友人、リコからのメールで始まった。

「元気〜！最近どうしてる〜？実は職場の人で面白いオジサンがいるんだけど、

飲み会しよう！女の子呼んで〜って五月蠅いのよ〜。」

仕事を始めたばかりで、男だらけの職場に馴染めならしくリコからのSOSだ。

親友の助けになるなら…という気持ちからエイコは飲み会への参加を快諾した。

年末に向けて、そうでなくても忙しい毎日。まあ大半は忘年会だ。

（でも珍しいな〜、リコからの飲み会のお誘いだなんて。よっぽど困ってるのかな。）

こんなことを思いながらもメールに返信した。

「土曜日なら大丈夫。何とか時間作るよ。」

リコは内向的で大人しく、仕事上の嫌なことでも断りきれずにいた。しかも、その職場こそまさに、ひろしの独壇場だ。下ネタの格好の標的である。

対してエイコは外交的で物怖じしない。彼女の中にはほんの少しの好奇心もあつた。

（もしかして、職場に好きな人でも出来たかな？リコ好みのイケメンはそう居ないからなあ。）

そんな彼女の思惑とはかけ離れた人物との出会いだった。

「土曜日午後7時頃には迎えに行くね。」

約束の日、前日のお酒が抜けきらないまま迎えのリコの車中で聞いている。

「職場で好きな人でもできたの？」

「ちッ違っよ！誰があんなオジサン。毎日下ネタで困ってるのよ。実害は無いけどね。」

（なあゝんだ、厄介な奴をとりあえずおとなしくさせたいだけかあ。）

残念な気持ちと同時に頭の中を接待モードに切り替える。

営業という仕事柄接待には慣れている。テキトーに盛り上げてテキトーに切上げる。

…つもりだった。相手があのひろしでさえなければ…。

居酒屋に着くと二日酔いの頭痛だけが気にかかる。もはやどんな人が来るか興味は無い。

（出かける前に痛み止め飲んでいれば良かったかなあ。あゝ断れば良かった。）

そんな事を思っていた矢先に居酒屋のドアが開いた。

身長推定177cm、体重およそ77kg。

メガネをかけた30代半ばの男が一人、ズカズカとこちらに来る。

「お疲れ様です。」

リコが声をかけるとほぼ同時にエイコも

「お疲れ様です。」

まったくの初対面のはずである。にもかかわらずエイコにはなぜかわかっていたのだ。

（何でだろう、あの人だ！ってなぜ…。）

直感したのだ。今後の彼女の運命を変えるプロローグである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7797a/>

ひろし・Road下巻

2010年12月4日05時22分発行